

学校法人二本松学院
(京都美術工芸大学、
京都建築工芸大学、
京都伝統工芸大学校)
理事長
新谷秀一



判断基準は「学生のためかどうか」 常識や慣習にとらわれず、 スピード感をもって変革に挑戦する

学

校法人二本松学院が提供する建築・伝統工芸・美術工芸の学び。その根底には、千年の都、京都で受け継がれてきた長い歴史の重みがあります。しかし、ただ伝統をなぞり、技術を継承していくだけではありません。これまで、本学院自身が革新的な発想で日本の教育システムを開拓してきました。例えば、郊外型のロケーションを生かし、新しいスタイルの建築教育を提供する学校として1991年に開校した京都建築工芸大学(当時 京都国際建築技術専門学校)では、産業界が求める「二級建築士」資格を在学中に取得可能なカリキュラムを確立しました。

また、国と京都府の要請を受け、95

年に開校した京都伝統工芸工芸大学校

(当時 京都伝統工芸専門学校)では、それまでの「門外不出」「子相伝」という継承の形ではなく、体系的な教育システムで技術を伝承する学びの場を作り出しました。当初、伝統工芸業界の反発もありましたが、約2500人の卒業生が業界を担う人材として育ってきた今は、強い信頼関係が築かれています。2015年には、長年にわたる後継者育成と伝統産業の活性化に貢献したことが評価され、京都府、京都市、京都商工会議所等より京都創造者賞(アート・文化部門)を受賞しました。16年度には、従来の10専攻に加え、京都府と京都手描友禅協同組合の全面的な支援のもと、「京手描

友禅専攻」も始まりです。

この2校の経験を発展させ、「日本の伝統美の新しい価値を創造し、世界へ発信できる人財育成」を目指し、12年に開学したのが京都美術工芸大学です。開学から4年、学生一人ひとりを徹底してサポートした結果、地方公務員や大手住宅メーカーへの就職、国立大学大学院への進学が決まるなど着実な進路実績も出ています。

また、大学では初の、在学中に「二級建築士」が取得可能なシステムを作り、今回、全国初となる大学在学中合格者を輩出することができました。さらに、高大接続の新しい試みとして放送大学と特別に連携し、AO入試合格者が放送大学の授業を入学前に履修することで、大学の単位として認定するしくみを15年度から開始しています。その分、入学後、実習や専門的な学びに時間を使うことが可能になりました。

17年4月には、京都駅から徒歩圏の場所にキャンパスを開設する予定です。京都国立博物館、三十三間堂にほど近い、常に「本物」に触れられる環境で、わが国の文化のさらなる発展に貢献できる人財を育てる場として、今後も進化させてまいります。

【理事長プロフィール】しんたに・ひでかず●1940年生まれ。住宅会社を設立し社長就任。91年より現職。(一財)京都伝統工芸産業支援センター(第三セクター)理事長。

【学校法人プロフィール】1991年京都国際建築技術専門学校開校、2007年京都建築工芸大学へ校名変更。95年京都伝統工芸専門学校開校、07年京都伝統工芸大学へ校名変更。12年京都美術工芸大学開学、17年に京都東山キャンパス(JR京都駅より徒歩15分/京阪七条駅下車すぐ)を開校予定。